

# 教育委員会会議録（10月定例会）

## 日 時

令和6年10月24日（木）  
午後1時30分から午後1時58分まで

## 場 所

日立市役所 304・305号会議室

## 出席委員

教育長	折笠 修平
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	朝日 華子
委 員	上村 由美
委 員	小野 智久

## 委員以外の出席

理事	窪田 康德
総務課長	作山 直弘
総務課課長	高橋美奈子
学校施設課長	高瀬 稔
学務課長	北見 裕
学務課課長	富岡 道雄
学校再編課長	酒地 康彦
学校再編課課長	鈴木 康世
生涯学習課長	齋藤 広美
スポーツ振興課係長	菊池 弘史
指導課長	青木 房子
指導課課長	佐川 正城
記念図書館長	鈴木 弘嗣
郷土博物館長	島崎 信彦
北部学校給食共同調理場長	根田 容子
教育研究所長	諸橋 正和
総務課課長補佐（兼）庶務係長	塙 智光
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	西野 晃平
総務課係長	澤田 貴子
総務課主事	上遠野 宰

## 議 事

### 報 告

報告第10号 教育委員会9月定例会の会議録について

### 議 案

議案第40号 日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び任命について

### その他

- (1) 令和7年度予算編成方針について
- (2) 令和7年度公設児童クラブの入所児童の募集について
- (3) 令和6年度日立市立図書館「としょかんまつり」について

# 会 議 の 概 要

## 1 開 会

教 育 長   ただ今から、教育委員会10月定例会を開会します。

  本日は、傍聴希望者が1名おります。  
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員   結構です。

## 2 報 告

報 告 第 1 0 号   教育委員会9月定例会の会議録について

教 育 長   まず、報告第10号について、御意見等はございませんか。

全 委 員   特にありません。

教 育 長   それでは、本件については、承認されました。

## 3 議 案

議 案 第 4 0 号   日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び任命について

教 育 長   続いて、議事に移ります。  
議案第40号について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長   日立市いじめ調査委員会委員は、令和6年10月31日をもって任期満了となるため、新たに委員を委嘱及び任命するものです。  
委員の任期は、令和6年11月1日から令和8年10月31日までの2年間となります。

  次に日立市いじめ調査委員会委員名簿になります。  
委員名簿に記載のとおり、日立港病院医師理事長の末永純子氏のほか9名を選出し、委員に委嘱及び任命するものです。

教 育 長   それでは、議案第40号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員   異議なし。

教 育 長 議案第40号については、原案可決と決しました。

#### 4 そ の 他

##### (1) 令和7年度予算編成方針について

教 育 長 続いて、その他に移ります。  
その他(1)について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 「本市の現状と社会経済の動向」でございます。  
「本市の現状」といたしまして、令和5年度決算の状況になります。

令和5年度の決算額は、781億4,200万円で、過去3番目の決算規模でございました。

これは、災害復旧や、物価高騰対策など、市民の安全・安心な暮らしの確保を最優先に取り組んだ結果でございますが、一方で、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費が、5年間で大幅に増加しており、歳出の半分を占めている状況でございます。

次は本市の財政に特に影響のある、物価、金利等の「社会経済の動向」でございます。

まずは、「物価の動向」でございます。

消費者物価指数は、令和3年から上昇傾向が続いており、今後とも、概ね2%程度の上昇で推移すると予想されているところでございます。

「金利の動向」でございます。

日本銀行が、マイナス金利政策の解除を発表し、17年ぶりの金利引き上げが、実施されました。

これにより、本市の市債を発行する際の、借入利率も年々上昇傾向にあることから、負担する利子への影響を、注視していかなければならない状況でございます。

次は「令和7年度における財政収支見通し」でございます。

「歳入の見通し」の「市税の見通し」でございます。

令和6年度の市税収入は、現時点において、当初予算額を確保できる見通しでございます。

令和7年度につきましては、個人市民税の引き続きの回復傾向を見込むものの、法人市民税の見通しは、不透明な状況でございます。

しかしながら、市税全体としては、定額減税の影響額を考慮した、令和6年度の当初予算と同水準、または、それ以上の歳入を確保できるものと見込んでおります。

次に「地方交付税の見通し」でございます。

地方交付税は、国の概算要求において、前年度比1.7%の増、普通交付税の振替分となる臨時財政対策債は、7,743億円が増

額とされているため、現時点において、令和6年度当初予算額以上は、確保できるものと見込んでいるところでございます。

「ふるさと寄附金の見通し」で、ふるさと寄附金は、学校給食費の無償化や、日立駅前の活性化をはじめとした、本市の重要施策の貴重な財源として、活用させていただいております。

「基金繰入金の見通し」で、当初予算における、基金からの繰入額は、2年続けて100億円を超える計上となっております。既存事業の統廃合など、事業の在り方について、見直しに取り組むとともに、業務のデジタル化や、働き方改革の推進などにより、経費の削減を進め、基金繰入金を減額していかなければならない状況でございます。

次に「歳出の見通し」でございます。

「義務的経費の見通し」で、特に、扶助費は増加が顕著であり、令和7年度も大幅な増加が見込まれます。

また、扶助費ではございませんが、性質の類する介護保険や、後期高齢者医療の特別会計への繰出金も、同様に増加傾向にございまして、令和7年度の増加が見込まれるところでございます。

「物件費、大型事業・災害復旧事業の見通し」でございます。

委託料、需用費などの物件費は、物価高騰や、民間事業者の賃上げ等により、増加傾向が続くものと見込まれます。

工事請負費につきましては、物件費同様の増加要因に加え、今年6月から導入した週休2日促進工事の影響額が、導入前と比べ4%ほど増額すると見込まれます。

また、既に継続費を設定しております、7つの事業の年割額、34億5千万円を計上しなければならないことに加えまして、鮎川・城南道路をはじめ、常陸多賀駅周辺地区整備事業や、流域治水計画に基づく河川改修事業など、今後数年間、大型事業が集中することが見込まれております。

次に「収支見通しに基づく今後の課題、取組の方向性」でございます。

市税収入の大幅な増加が見込めない中で、物価高騰や、賃金上昇などにより、従来と同じ事業内容であっても、かかる経費は年々増加しております。

しかしながら、これからも市民生活を守り、地域経済活動を回復させていくためには、刻々と変化する社会経済情勢を、的確に把握しながら、必要な対策を、適時適切に講じていかなければなりません。

そのためには、政策的な経費の財源を確保する必要があり、国や県の補助金などの特定財源や、ふるさと寄附金などの自主財源の確保が予算編成における大きな課題と言えます。

加えて、令和7年度を経営改革の元年と位置づけ、事務事業の抜本的な見直しや、公共施設の統廃合の推進、デジタルを活用した業

務の省力化・効率化と、市民サービスの向上などに、全庁を挙げて推進していくことを、予算編成に向けた取組の方向性とするものでございます。

次に「令和7年度予算編成の基本方針」でございます。

基本方針2の、「地域共創社会を目指す「前期基本計画」の着実な推進」は、本市が持続可能なまちとして、更なる発展を遂げていくために取り組んでいかなければならないものでございます。

予算計上段階において、経営改革の視点をもって、事業の選択と集中に取り組んでいくことが求められております。

続きまして、「令和7年度の重点予算項目」になります。

まず、第1の柱となる「安全・安心のまちづくり」は、6項目ございます。

災害復旧、防災・防犯は、近年、激甚化・頻発化する自然災害に対し、適切かつ速やかに対応できる防災・減災対策や、危機管理体制の更なる強化。地域医療・障害者の自立支援は、安心して子どもを産み育てる医療環境の充実や、更なる障害者の自立支援。高齢者支援と生きがいづくりなどの取組でございます。

第2の柱「地方創生・人口減少対策」は、8項目ございます。

出会い・子育て応援は、結婚から子育てまでの切れ目のない支援に引き続き取り組み、「子育てするなら日立市で」と思われる環境の更なる充実。若者かがやきは、若者が挑戦・成長できる環境づくり。女性活躍は、全ての女性が輝く地域づくり。若者の就業支援は、若い世代が求める、多様な雇用機会の創出や、就業の選択肢を増やすための取組などでございます。

第3の柱「都市力の向上」は、7項目ございます。

災害に強い治水対策の実施は、令和5年台風13号に伴う大雨被害を教訓とし、流域全体で総合的に対応していく治水対策。産業振興、地域公共交通の維持・確保などを進めるものでございます。

第4の柱「持続可能なまちづくり」は、7項目ございます。

デジタル化の推進（DX）は、「ひたち型スマートライフ」の実現を目指すとともに、「行政手続のデジタル化」を進め、市民サービスの更なる向上や、行政運営の効率化。教育振興は、「教育は日立で」と思われる教育の実現。文化・スポーツの振興は、誰もが楽しめるスポーツ振興の推進などに取り組むものでございます。

次に「予算編成に際しての留意事項」でございます。

補助金等につきましては、ゼロベースからの事業見直しを検討するため、先月、全庁的に調査を実施いたしました。

特に、10年以上にわたり継続している、執行率が低い、類似の制度があるといった補助金につきましては、必要な見直し、廃止に向けた対応が要請されております。

令和7年度予算編成方針の説明は以上となりますが、現在、事務局では、御説明しました予算編成方針に基づき、令和7年度の予算

要求の事務を進めているところでございます。

定例会などで委員の皆様からお寄せいただきました、御意見を参考とし、教育行政の更なる充実に向け、予算編成を進めてまいりたいと考えております。

**委員** 生活指導員や、ICT支援員などの様々な支援員の確保及び増員ができるように、教育予算の確保をお願いいたします。

**委員** 企業の雇用形態が変わってきていて、若い人が新しいスキルを身に付けないと再就職できないようになってきています。

今後は、生涯学習のニーズが増えると思いますので、若い人が必要な技術を学べるようなシステムの構築などをお願いしたいと考えております。

**委員** 決算額全体に占める義務的経費の5割の中に、教育委員会に関わる予算はどのように振り分けられているのか伺いたいです。

**総務課長** 義務的経費につきましては、人件費をはじめ、最低限必要な経費が含まれておりますが、市の中の各部で要求をしまして、その中から割り振られた金額を使っていくというような形になります。

教育委員会として必要経費については、財政当局に強くアピールをして、予算の確保に努めていきたいと考えているところでございます。

**委員** 予算が厳しい状況になってきている中で、教育委員会内部では各課に向けた指導等はあるのでしょうか。

**総務課長** 教育委員会の各課所と個別に予算のヒアリングを実施しまして、市の予算編成方針に基づいた編成作業を進めているところでございます。

ヒアリングでは、教育部長を中心に、事業背景や必要性などの基本的な考え方などを精査しています。

特に、所期の目的を達成した事業などについては、大胆な見直しを行うなど、積極的な経費の抑制に努めるように働きかけをしているところでございます。

また、その一方では、日立総合計画や、日立教育大綱などをはじめ、学校教育、スポーツ、生涯学習の各計画に記載の取組などの推進、本定例会で委員の皆様方からいただきました、御意見などを踏まえて、各課所長と連携し、充実した教育行政の実現に向けた予算編成を進めているところでございます。

## (2) 令和7年度公設児童クラブの入所児童の募集について

教 育 長 次に、その他(2)について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 公設児童クラブの募集人数でございます。  
中里小中学校を除く各小学校内に開設されており、全23クラブにおいて、合計1,958人を募集するものでございます。  
入所要件については、記載のとおりでございます。  
申し込み期間は、継続者は11月20日から12月13日まで、新規者は11月20日から12月20日まででございます。  
申込書の配布等につきましては、配布期間は11月20日から開始しまして、配布場所は各児童クラブ、教育プラザ内にある放課後児童センター及び生涯学習課で配布をいたします。なお、市ホームページからダウンロードすることも可能です。  
申し込み方法につきましては、継続者は各児童クラブに持参していただき、新規者は放課後児童センターへ持参又は郵送していただくこととなります。  
広報についてです。  
就学時健康診断で案内書を配布するほか、11月20日号市報及び市ホームページでお知らせをいたします。  
入所者の決定は、令和7年2月上旬頃を予定しております。  
なお、放課後児童クラブの概要につきましては、記載のとおりでございます。

委 員 人数に対してクラス数が適切なのかどうかという要望や意見はありますか。

生涯学習課長 クラス数についてですが、学校と協力をして、確保している教室から積算したクラス数と募集人数になります。  
例えば、はなやま児童クラブは、募集人数は86人を確保してございますが、現在の児童数は27人なので、1クラスで運営をしております。  
しかし、児童数は年々減少傾向にございますが、児童クラブの利用者数は年々増加している現状でございます。  
今後は、各児童クラブの利用児童の申込み状況を見ながら、適切なクラス数の配置と足りない部分に関しては、学校と協力しながら、利用スペースなどの確保や、拡充に努めてまいりたいと考えております。

## (3) 令和6年度日立市立図書館「としょかんまつり」について



教 育 長 次に、その他(3)について、記念図書館長から説明をお願いします。  
す。

記念図書館長 11月9日土曜日の十王図書館を皮切りに、12月14日土曜日の記念図書館まで、記載の日程で、各館で順次「としょかんまつり」を開催いたします。

各館とも準備を重ねているところをごさいますて、それぞれに工夫を凝らした催し物を行う予定になっております。お住まいの近くの図書館や、お出かけになった際、近くに図書館などがございましたら、お時間を作っていただき、御来館いただければと思います。

なお、「としょかんまつり」の日についても、本の貸し出し、返却、図書の閲覧などの業務は行っておりますので、合わせて御利用いただければ幸いに存じます。

## 5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 令和6年11月28日(木)午後2時30分から、日立市役所3階304・305号会議室で開催予定です。

## 6 閉 会

教 育 長 以上をもちまして、教育委員会10月定例会を終了いたします。

以 上